
はじめに

クラスの中に、落ち着きがない、運動がぎこちない、忘れ物が多い、授業中に立ち歩く、かっとなりやすいなどの気になる子どもがいないでしょうか。このような子どもたちの中には、LD、ADHD、高機能自閉症といわれる子どもたちがいるかもしれません。

LD（学習障害）やADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症ということばが、学校教育にかかわる人々の間で話され始めて久しくなりました。

通常の学級に在籍しているこの子どもたちの行動は「問題のある行動」ととらえがちです。しかしそれらは、子どもたちが指導の改善を求めているサインではないでしょうか。この子どもたち一人一人を伸ばしていくのためのよりよい支援が、今日の学校教育の新たなテーマとなっています。

しかしながら一方でまだまだ、これらのことばや意味する概念などについて一般的になっているとはいえない現状があります。

そこで、この冊子はLD、ADHD、高機能自閉症の基本的な理解と対応について知っていただくことを目的に作成しました。先生方が、気になる子どもが発しているサインを受け止めて一人一人のニーズを理解し、支援をしていくための一助となりましたら幸いです。

